学校番号	３１９

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　現代文Ｂ」（筑摩書房）						
副教材等	「新総合　図説国語」（東京書籍） 「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 「みるみる実力アップ現代文３」（第一学習社） 「シグマベスト　大学入試国語頻出問題」（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生ではこれまで身に付けた基礎的な国語の力を活用することを意識しましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させることで、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・漢字、問題集などを用いて家庭学習の習慣を継続させましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

1　文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
2　文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。
3　現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。
4　生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 （発問と応答） 記述の点検	行動の観察 （意見発表の意欲と的確さ）	記述の確認及び分析	記述の確認 テキストの音読	行動の観察 記述の確認 漢字小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	「自然を守る」ということ	○	○	○	◎	○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 b：自然保護が必要とされる例を調べることができるか。 c：本文の要旨をまとめることができるか。 d: 「人間と自然の二項対立」とはどのようなことか理解しているか。 e:本文中の語句について理解しているか。	a：行動の観察 b: 行動の観察 c：記述の確認 d：記述の確認 e: 記述の確認
	評論	ことばへの問い	○			◎	○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 d: 言語と現実に対する考え方を考察することができるか。e:語句の意味・用法を理解している。 e: 語句の意味・用法を理解しているか。	a：行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認
	評論	チャンピオンの定義	○	○		◎	○	a:内容に関心を持っている。 b: チャンピオンの定義」という題名がどのようなことを意味しているか話し合うことができるか。 d: 「友人」にとって筆者はどのような存在であったか理解しているか。 e: 語句の意味や用法を理解しているか。	a：行動の観察 b: 行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認
2学期	評論	ものとこと	○	○		◎	○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 b；短歌や俳句・詩を読み、筆者の主張をふまえて、その作品の持つ「ことの世界」を話し合うことができるか。 d: 本文を三つの段落に分け、それぞれに小見出しをつけることができるか。 e:語句の意味を的確にとらえている。	a：行動の観察 b: 行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認

	小説	急須	○		○	◎	○	a:教材の内容に関心を持っている。 C: 物語の出来事と、登場人物の心理の変化を整理することができるか。 d: 主人公にとって「急須」を磨く行為はどのような意味を持っているかを理解しているか。 e: 全文を正しく音読できるか。	a：行動の観察 c：記述の確認 d：記述の確認 e: 記述の確認
	評論	死と向き合う	○	○		◎	○	a:教材の内容に関心を持っているか。 b：筆者の考える「希望」について自分の意見をまとめて発表することができるか。 d:インフォームドコンセントについて理解しているか。 e: 語句の意味・用法を理解しているか。	a：行動の観察 b: 行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認
	評論	リスク社会とその希望	○	○		◎	○	a:文章全体の論理構成を把握し、筆者の主張を理解している。 b：「リスク社会のリスク」について具体的な例を挙げて発表することができるか。 d: 本文を三つの段落に分け、それぞれに小見出しをつけ、要約することができるか。 e:語句の意味や用法に関して理解している。	a：行動の観察 b: 行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認
3学期	小説	藤野先生	○			◎	○	a: 魯迅や、教材の内容に関心を持っているか。 d: 魯迅と藤野先生を描いた太宰治の『惜別』を読んで、この作品と比べて理解することができるか。 e: 語句の意味・用法を理解しているか。	a：行動の観察 d：記述の確認 e: 記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。